

第5回 ユーザー視点の港湾再生による地域活性化のあり方に関する委員会 議事概要

日 時：平成24年6月4日(月) 10:00 ~ 12:00

場 所：永田町合同庁舎7階特別会議室

議事要旨

(1) 競争力向上に係る基本的方針

- ・産業の立地と港湾の配置は密接に関係しており、コンテナ航路が国内で分散していることは、地方の産業にとっても不利であり、京浜港への集中が地方を含めた産業の競争力強化にとっても望ましい。(委員)
- ・地方港から海外へのトランシップに対する補助金に係る記述について、「地方港から京浜港等を通じてトランシップすることが経済的に有利となる環境を整備する」とした方が適切ではないか。(委員)

(2) 京浜三港と我が国の他の港湾との関係

- ・日本海側からの貨物は、釜山港等への直送だから各港が取り扱っても良いというのではない。アジア域内の貨物でも集約すべきと考えている。(委員)
- ・北部九州は地理的に有利に見えるが、2点考えるべきことがある。1点目は、ヨーロッパ方面の貨物を京浜港・阪神港で集めることが難しいのであれば、現状の利用状況から日本海側から釜山などへ出した方が良いと考えられる。2点目は、アジア域内の3,000マイル以内の輸送でワンストップを掛ける意味があるのか疑問であり、北部九州へ陸送又は海送で集約してから運ぶより、地方港から直接運んだ方が安いのではないか。(委員)
- ・地元振興のために地方自治体が釜山フィーダーへの補助金を行うことは理解できるが、適切ではない。釜山港等に限定するのではなく内航、陸送も含めて同等に支援をするべき。(委員)
- ・内航をより支援すべきと考えており、「平等に」という所は、同意できない。釜山フィーダーへの補助金を抑制することは、同意できる。(委員)
- ・国土交通省としてはそこまで言及していないが、仮に京浜・阪神の2港を一港に集約する場合には、阪神港で約430万TEU、京浜港で約700万TEUの需要があるので、現行の1港、例えば京浜港のハードでは取扱能力が不足し、インフラ面での対応も当然必要になることを誤認識いただきたい。(国土交通省)
- ・韓国への物流が直送かフィーダーかをICタグで識別し、政策に活かすということであれば、もう少し分かりやすい記述にするべき。(委員)

(3) 京浜三港での機能集約等について

- ・国による港湾の選択と集中が行われることと、京浜港独自の取組は同時並行的に行われていくべきとの考えが、港の事業者の総意であるため、「京浜三港自身が実施可能な取組を政府による支援に併せて進める」と修正してもらいたい。(関係自治体)

(4) 港湾利用等に係る環境の改善

- ・コストを下げることは必要であるが、コストの話だけをあまりしない方がよいのではないか。また、弱い所を直すより、強い所をより強くするという観点も必要ではないか。(委員)
- ・社会的な費用と財政支援を受けたために見かけ上のコストが安くなっていることを区別しなければいけない。規制等のために社会的費用が高くなっている場合は、無条件に下げなければならない。日本の社会的費用が下がって、それと同等だけ韓国も努力し社会的費用が下がることは、全体的にコストが下がるので誰も損をしない。釜山と日本との競争関係は変わらないかもしれないが取り組むべき。(委員)
- ・釜山と比較して港湾コストは高いが、財政支援等により利用者のコストを下げる等の価格競争をすると疲弊すると思うので、過度にコストを下げる必要はない。(委員)
- ・高速道路料金に係る記述について、「混雑などの社会的費用に基づいた料金設定とすべきである。港湾利用だけをこの原則から外れた料金にするべきでない。」という表現が適切ではないか。(委員)
- ・強制水先基準の規制緩和と事故発生との因果関係は、証明できないと思うので、「安全性に配慮しつつ」という記述があれば十分ではないか。(委員)
- ・規制緩和の善し悪しを問うのではなく、何か起こった時の責任をはっきりしておくべきという記載は必要だと考える。(委員)

(5) 大型船対応

- ・超大型船対応の施設は、南本牧で整備しており、東京港でも北米やアジア航路の船舶の大型化に対応し水深 16m級のターミナルを整備している。一括りに大型船とするのではなく、書き分ける必要がある。(関係自治体)
- ・パナマ運河を拡張する話もあり、どの航路も大型船化してくる。水深を明記することで書き分けたらどうか。(委員)

(6) 国内の物流ネットワーク

- ・鉄道輸送に関する記述内容について、例示等を入れて充実すべき。(委員)

- 45 フィートコンテナの利用について、どれぐらい需要があるか調べてみるべき。(委員)
- 戦略港湾への政策面、予算面での選択と集中をお願いしたい。(関係自治体)